

2. 主要事業・施策の概要

1) 改築事業

(1) 首都圏中央連絡自動車道

都心から伸びる放射状道路を環状につなぐ道路で、都心部の通過交通の抑制と流入する交通を分散し、渋滞の緩和による走行時間の短縮や、周辺地域の環境改善効果を担っています。神奈川県内においては横浜環状道路の一部ともなる「高速横浜環状南線」、「横浜湘南道路」、「さがみ縦貫道路」の3区間に分かれており、湾岸地域と内陸地域を結ぶ新たな交通軸としても期待されています。

【事業区間】

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道
(高速横浜環状南線、横浜湘南道路、さがみ縦貫道路)

■ 事業の進捗状況



横浜市環状4号線 鎌倉女子大前付近
(高速横浜環状南線)



トンネル立坑
(横浜湘南道路)



西久保JCT
(さがみ縦貫道路)



寒川南IC
(さがみ縦貫道路)



宮山高架橋
(さがみ縦貫道路)



相模原 I C
(さがみ縦貫道路)



※ IC・JCT名は仮称です。

■平成20年度の事業

《釜利谷 JCT から藤沢 IC》（開通目標平成 27 年度）

高速横浜環状南線 【用地進捗率 61%】

調査及び設計、事業用地の取得を推進します。

横浜湘南道路 【用地進捗率 38%】

調査及び設計、事業用地の取得、トンネル立坑工事を推進します。

《西久保 JCT から海老名北 JCT》（開通目標平成 22 年度）【用地進捗率 97%】

埋蔵文化財調査、設計、事業用地の取得、橋梁・改良工事を推進します。

（主な工事）

宮山第一高架橋工事（14 径間連続鋼床版鋼箱桁 延長 930m）

宮山第二高架橋工事（4 径間連続鋼箱桁 延長 199m）

田端第五高架橋工事（4 径間連続鋼板桁 延長 200m）

田端第六高架橋工事（6 径間連続鋼板桁 延長 185m） ほか

《海老名北 JCT から海老名北 IC》（開通目標 平成 21 年度） 【用地進捗率 100%】

事業用地の取得、改良工事を推進します。

[中日本高速道路(株)担当区間]

《海老名北 IC から相模原 IC》（開通目標 平成 22 年度）【用地進捗率 97%】

埋蔵文化財調査、設計、事業用地の取得、トンネル・工事を推進します。

（主な工事）

上依知第 1 トンネル工事（NATM 工法 延長 652m）

相模原 IC 橋梁上部・下部工事

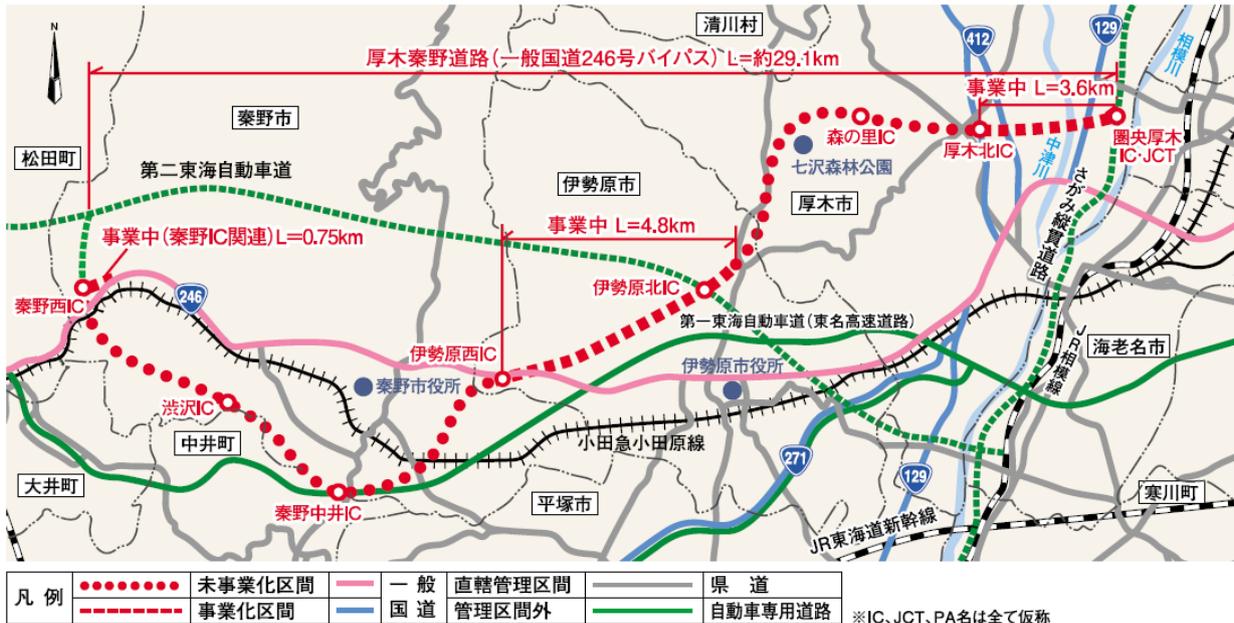
※用地進捗率は平成 20 年 5 月末現在

(2) 厚木秦野道路

厚木秦野道路は、一般国道246号バイパスとして現道の交通混雑の解消を図るとともに、第一東海自動車道（東名高速道路）、第二東海自動車道、さがみ縦貫道路を相互に連絡し、県央・湘南地域の広域的ネットワークを形成するものです。

■平成20年度の事業

- 厚木地区 調査設計及び事業用地の取得並びに工事を推進します。
- 伊勢原地区 調査設計及び事業用地の取得を推進します。



(3) そのほかの事業

【国道1号 新湘南バイパス】

調査及び設計、事業用地の取得を推進します。

【国道357号 東京湾岸道路】

未開通区間の調査及び設計、横浜ベイブリッジ耐震工事、2車線で開通している区間の4車線化工事を推進します。